

### Pick Up News

震災から8年。あらためて8年前のあの日のことを思い返します。皆さんそれぞれ、さまざまな経験をし、心に何らかの思いを抱えていることでしょう。本学科も在学学生、入学予定の高校生を亡くすという悲しい出来事を経験しています。当たり前のように巡る一年の中で、せめてこの日だけでも…平穏な日常の中、「普通」の生活ができていないことに感謝をしなければ、と思っています。さて、慌ただしい1ヵ月でした。2月下旬には恒例のせんだいメディアテークでの展覧会が開催されました。卒業設計・卒業論文など、本学科の教育の一端をご披露する場となりました。あわせて開催された発表会では、学外の審査員の皆さんに対して発表し、講評をいただき、そして各賞が決定しました。建築学科の学生の活躍が光る一ヵ月でした。今年度の行事も終了。残すは3月20日の学位授与式となります。



今年の卒業設計は28作品、修士設計は4作品。その中から選抜された卒業設計9作品、修士設計1作品の発表会がせんだいメディアテークで行われました。毎年恒例の行事ですが、ここでの発表は建築学生にとっては大きな目標でもあり夢の舞台です。

今年から1~3年生の各課題の優秀選抜課題のレビューもあわせて行われました。本学科の設計教育の一端が伝わる場となりました。



中国の名門ハルビン工業大学建築学科の一行が本学科を訪問。本学の教育環境を視察。薛教授から震災と耐震技術についてのミニレクチャーをいただきました。

段ボール製防災製品プロジェクト。仙台防災未来フォーラム2019に出展します。高泉沙知恵さん、浅野陽菜さん、鈴木楓由さんの案を製作し展示します。

文科省主催のサイエンスインカレに吉田鷹介くん(不破研4年)が出演。選抜された人だけが参加できるものですが、さらに奨励賞を受賞！

卒業設計・修士設計の発表会後の審査員の先生方を交えての記念撮影。尚建会大賞: 吉城圭志朗くん「Sb/Sendai Skateboarding Journal」、尚建会賞: 岡本優花さん「死と呼応し山に還る」、経済交流会賞: 高橋雅人くん「構文の誤読による建築設計手法の提案及び設計」。そのほか各審査員賞も決定しました。

### Pick Up Lab. 新井研究室

では、復興コミュニティデザインの取り組みを中心に、新たな住まい方、地域社会のあり方についての調査研究を実践的に行っています。計画中の盛岡の災害公営住宅では、立ち寄り易い集会所のプランニングをアドバイスしたり、塩釜では持続可能な集会所の運営方法について住民や行政と検討したり、あすと長町では食堂イベントを実践しています。また昨年開設したシェアハウス長町南(つなセン運営)では、入居者がより快適に暮らせるよう棚等をDIYしたりしています。その他、都市部の空き家活用について実践的な活動を進めていく予定です。  
※つなセン: NPO法人つながりデザインセンター・あすと長町(副代表: 新井)



左: 壁塗りDIY 右: 制作した緑台の座り心地を確認する学生たち(いずれもシェアハウス長町南)



1年 佐藤 豪大くん  
大曲工業高校 出身

### Pick Up Student

大学で建築を学び始めてからあっという間に1年が経過しようとしています。時間の経過が早く感じられるのは充実した生活を送っていた証だと思っています。私は工業高校で建築を学んでいましたが、正直なところ基礎的な部分など忘れていたところが多かったです。ですが、東北工業大学では基礎から学ぶことができるため思い出しながら取り組むことができました。そして、講義で扱う建築物は国内に限らず海外の建築も学ぶことができ、幅広い建築物を知ることができました。2年生では更に専門的な講義が多くなってくると感じます。知識を与えられるだけではなく自ら知識を吸収していくよう意識して、充実した学校生活を送ってまいります。



2年 森越 美咲さん  
泉館山高校 出身

### Pick Up Student

大学生活は4年間もあり長いと思っていましたが、もう半分終わっていることにあっという間だったなと思います。私は高校が普通科だったということもあり、専門的な知識は一切無く不安でいっぱいでした。ですが周りの人達に助けられながら大学生活を送れたことで不安が軽くなりました。これまで設計やレポートなど課題に追われて何度も嫌になったことはありましたが、友達のおかげで乗り越えられたことが多くあります。たぶん私一人だったら絶対に乗り越えられなかったと思います。今後は就職も本格的に考える時期になります。なので3年、4年とこれまでより真面目に課題やテストに取り組んで将来の進路に繋げていけるように頑張りたいと思います。